

4-(1)-⑩ 産官学連携

プロジェクトセンター/ものづくり総合研究センター/ウルトラファクトリー

ものづくり総合研究センター受託関連(プロジェクト含む)

平成30年5月1日

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	手しごと職人のまち東山活性化プロジェクト	2017.04-2018.03	京都市東山区役所	過去10年間の職人調査を記録するため、伝統産業の現状や工程をリサーチ、企画内容に基づき取材し工房紹介記事や特集記事を作成、デザインや文章編集、校閲・入稿に取組み、書籍『京都東山職人手帖』1000部(A5サイズp144フルカラー ISBN:9784908658082)を発行した。広報イベントとして、五条坂登り窯跡地にて手しごとカフェや登り窯ツアー等(11月4.5日/来場者528名)、東山区役所総合庁舎にて工房を巡るツアーや職人トークライブ等(3月10.11日/来場者396名)を実施し、東山職人文化の発信に貢献した。	36名	有
2	粟田大燈呂プロジェクト	2017.04-10	粟田大燈呂実行委員会	2008年に京都東山にある粟田神社最大の祭礼行事「夜渡り神事」を180年ぶりに復活させ今期で10年目。神社や周辺地域の歴史・伝承を調査し、京都の歴史・芸術・文化・風土等を掘り下げ「大燈呂」のデザインをグループで提案(6月)制作(7-10月)、昨年度制作した5基とあわせて計11基の前夜祭展示と祭礼巡行を実施した。本年度も粟田地域の氏子を中心に神社境内にて大燈呂制作のワークショップを行い、地域との連携も深めた。10周年を祝う大提灯、子ども提灯も協働制作した。新作「大燈呂」は東山花灯路にも展示された。	37名	有
3	フコクアトリウム空間プロデュース	2017.04-12	富国生命保険相互会社・三菱地所プロパティマネジメント株式会社	大阪駅前にある大阪富国生命ビルの地下1階アトリウム「フコク生命の森」の空間演出プロジェクト。今回は平面・立体ともにクリエイティブの向上を目指し学生の主担当を2つに分けて実施。夏の巨大壁画では世界遺産・白神山地の「青池」をモチーフとしたタイル状の作品を公開制作。富国生命各支店の職員も制作に参加いただいた。冬は一帯のスノーマンフェスティバルに合わせ、輝くギフトボックスに見立てたオブジェ《snow bless》制作。一般投票で決まるスノーマンアワードでは過去最高の4位を獲得し、グランフロント大阪、ハービスPLAZAなど大型商業施設をも上回る事ができた。	28名	有
4	グリオブリッツPRプロジェクト	2017.04-12	江崎グリオ株式会社	江崎グリオ株式会社の主力商品「ブリッツ」を応援する企画提案型プロジェクト。小山薫堂・副学長の監修のもと、同社のマーケティング及び営業担当者とともに11月11日の「ボッキー&ブリッツの日」に集中的なプロモーションを行い、圧倒的な売上げを誇るボッキーに一矢を報いることを目指した。関西のある実店舗を舞台に販売促進用のPOP作成や売場づくり、販売サポートを実施。結果、実店舗では前年比約1500%という驚異的な売上げ増を達成し、全国で唯一ブリッツがボッキーを上回ることに成功した。	22名	有
5	HAPi+2017 -ホスピタル・アート-	2017.10-2018.02	京都府公立大学法人	京都府立医科大学附属病院の環境をアート・デザインの力でより改善するプロジェクト。9年目となる今回は、放射線部地下1階の廊下と更衣室の改善が求められた。改善前の問題点と希望のイメージを探る為、クライアントからの聞き取りやアンケートを入念に行った結果、現場を訪れる患者様・医療スタッフなど大人でも楽しむこと出来るモチーフ、そして開放感のあるデザインということで「鳥獣戯画の世界旅行」をテーマとした壁画や空間演出をすることとなった。また製作期間中には、壁画ワークショップも行い、待機中の患者様や医療スタッフに40名にご参加頂けた。	17名	有
6	花園中高“禅”イメージムービー制作	2016.04-2018.01	学校法人花園学園	花園中学校・高校の一貫コース「スーパースターグローバル禅コース」の受験希望者向け説明会時に使用するプロモーションビデオを製作。臨濟宗妙心寺の協力を得ながら、単なる学生募集ではない同校の教育理念、禅の教えのあり方を体感できる映像を目指した。制作過程には一部に映画学科学学生・卒業生も参画。長期にわたる撮影および編集を経て、完成度の高い作品として仕上がった。	0名 (16年度は一部参加)	無
7	「お菓子のミカタ」PR映像制作	2017.03-11	大阪製菓株式会社	多様なデザインで展開する洋菓子向けの缶の販売部門「お菓子のミカタ」のプロモーション活動の一つとして、一般の方にも贈り物としてその缶を活用したいと思ってもらえるように広報映像を企画し、制作を行った。工場を見学し、洋菓子販売店をリサーチし、オリジナルストーリーを提案。撮影、編集を行い、「お菓子屋さん編」「母と娘編」「カンカンマン編」の計3本の映像作品を完成。公式HPやYoutubeで紹介され、ツイッター等SNSでも配信された。	6名	無

8	世界の海をめぐるクイズラリー コンテンツ制作	2017.01-04	株式会社阪急阪神百貨店	阪急百貨店うめだ本店11階のこども販売場のゴールデンウィーク企画として、海遊館監修のもとで開催するイベント『世界の海をめぐるクイズラリー/めぐりんの冒険〜』の総合演出と装飾を担当した。複数回にわたる海遊館へのリサーチおよび打合せを経て、売り場全体を使ったスタンプラリーのための装飾をデザイン・制作。海遊館がテーマとする世界の5つの海の世界を店内に再現した。さらにウェブサイトを独自制作しネット上でもコンテンツを展開。知育要素もふんだんに盛り込み、ターゲットである小さな子どもと保護者の好評を得た。	15名	無
9	長栄マンションリフォーム (stamp)	2017.05-2018.04	株式会社長栄	2011年度からスタートした、学生による賃貸物件のリフォーム提案。2014年度よりStamp! (Students try apartment making project)と名づけ、物件デザインから派生した商品も生まれている。2017年度は前期(14期)、後期(15期)の2回に分けての開催で、前期のデザイン採用者は3名、後期は4名だった。	12名	無
10	高浜町葉草染め研究	2017.04-2018.03	いきいきタウン高浜	高浜町青葉山で自生する葉草による村起こし事業の一環として、葉草染め研究を実施。具体的には葉草が染色できる色素を有しているかどうかの実験。その後、葉草染めによる商品開発などを実施した。3年目は葉草染めの商品化を実現し、地元スタッフが技術継続できるよう研修会を実施した	8名	無
11	大塚国際美術館衣装制作	2017.05-07	大塚国際美術館	「#アートコスプレ・フェス@大塚国際美術館」の衣装制作を行った。このイベントは、絵画作品に出てくる衣装を実際に着ることの出来る体験プログラムで、こどもから大人まで大人気の恒例イベント。2017年度は古代から現代に至るまでの有名作品に出てくる衣装7点と小物を担当した。	8名	無
12	お茶の京都PV制作	2017.08-2018.03	株式会社響映・京都府	ムック本「お茶の京都」発刊に伴うPR用のPVを制作。卒業生を中心としたスタッフにより、撮影から編集までを行った。京都府南部のお茶のエリア12市町村を訪ね、2本の作品「お茶を繋ぐ」「お茶で出会う」を完成。3月より公式HPにて公開された。	10名 (卒業生5名含む)	無
13	松江水燈路 ねぶた作りワークショップ	2017.08-10	松江ライトアップキャラバン実行委員会	京造ねぶたを経験した本学学生が、松江水燈路で展示するねぶたの作り方に関するワークショップを行った。夏には島根大学学生に対して(8/20.21)、イベント前には一般市民に対して(10/14.15)、制作を通じて交流しながら、作品づくりに協力した。	3名	無
14	吉田町たたら新商品開発	2017.09-2018.03	公益財団法人鉄の歴史村地域振興事業団	平成29年度「しまね地域資源活用継承事業」に基づき島根県雲南市吉田町の地域資源を活用した商品開発を受託。同町は古代たたら製鉄の遺構と技術を保存していることで観光開発も期待されている。その文化資源に焦点を当て、鉄とその歴史を感じることで観光客向けお土産としてマスキングテープ5種とお守り2種を企画・デザイン。これらを製鉄になぞらえて「鉄の母」シリーズとしてブランディング提案までを行った。提案はすべて県内で生産ができることを前提としており、出資財団理事長で雲南市長の速水氏からも好評を得た。2018年内には発売開始の予定。	5名	無
15	左京区防犯防火ガイドブック増補版制作	2017.10-2018.01	京都市左京区役所	2017年度に作成した京都市左京区在住の外国人居住者向け防犯・防火ブックの日本語化および増補・改訂版の制作を受託。前回と同じ学生および卒業生により継続的に取り組んだ。今回は近年増加する特殊詐欺の被害の実態と防止策を伝えるイラストを追加制作。また、犯罪被害状況なども最新版に改めた。同冊子は前年度の配布開始から、とくに言葉が通じにくく日本での生活に不慣れな外国人居住者にも伝わりやすいと好評を得ていた。増補版は3月より配布され、京都新聞でも取り上げられた。	2名 (卒業生1名含む)	無
16	伏見稲荷大社・初午オブジェ制作	2017.10-12	伏見稲荷大社	伏見稲荷大社より、2月の初午の大祭について一般の方により親しんでもらえるようにという課題のもと、初午の日に授与される縁起物である「しるしの杉」のおたふく面のオブジェを直径50cmの大きさに制作、奉納した。掲載境内に一对、杉の太木に取り付けられ、巨大縁起物として祭礼行事に華を添え、参拝客にも喜ばれた。学内での制作風景や神社での奉納時は新聞メディアに取り上げられた。	3名	無
17	海外向け消火器設置台デザイン	2017.10-12	株式会社初田製作所	海外に向けた消火器設置台の研究を行い、新たなデザインを提案するプロジェクト。プロダクトデザイン学科、情報デザイン学科、キャラクターデザイン学科から有志学生を募り、企業訪問、消火器の構造や現況、設置場所等を研究を進めた。毎回のミーティングでは、クライアントが複数名訪れ、学生と直接意見交換を行い、研究のクオリティを高めた。グループごとに合計7点のデザインを提案、あわせて模型を納品した。	6名	無

18	WEB向けインタビュー記事作成	2017.10-2018.03	株式会社ガモウ関西	ヘアライブ応援WEBマガジン「Haire-dre (ヘアドレ)」記事コンテンツの一つ、スタイリストの紹介記事の立上げと構築に取り組む。関西を中心に、認定美容師1名に対して1記事を目標に、事前調査を進め、取材から原稿を作成し、編集校正を行った。公式サイトに10記事を掲載、コンテンツの充実をはかった。	3名 (卒業生)	無
19	イオン交換膜用繊維素材の検証	2016.05-2017.12	AGCエンジニアリング株式会社	精密製品であるイオン交換膜の新製品開発にかかる検証実験を受託。通信教育部・久田先生により複数のサンプルについて検証・報告を行い同社の開発事業に貢献した。開発内容・過程の詳細は機密保持契約締結案件のため非開示。	0名	無
20	京都府知事選挙啓発・短編動画制作	2018.02-03	京都府選挙管理委員会事務局	2018年4月8日京都府知事選に向けて、若者への選挙啓発のためのショートムービーを制作。NPO法人mielka (選挙啓発事業を行う学生団体)の脚本をもとに、撮影、制作を手掛け、出演にもたずさわった。公示日である3月に公式HPで公開、府内自動車学校9校等でも放映された。	5名	無
21	大阪市大病院・安全イラスト制作	2018.02-03	大阪市立大学大学院医学研究科医療安全学講座	大阪市立大学大学院医学研究科・山口悦子氏が行っている医療安全研究「メディア・アートと医療の教育」の一環として、看護師が入院患者に服薬管理について説明する際の実証研究を行うためのヴィジュアルツール(イラスト)制作に協力した。同大学医学部附属病院の看護師作成のシナリオに基づき5枚の実用イラストを制作。実際の医療現場を取材し、細かな設定にもこだわったイラストを仕上げた。実証研究は3月以降に行われ、検証結果は同大学内外の研究会等で報告・公表される予定。	2名	無
22	EIDAIフローリングデザインコンペ2017	2017.05-09	永大産業株式会社	住宅設備大手・永大産業株式会社が開発したデザインフローリングの新しい可能性を探るため、学生によるデザインコンペを昨年に続き開催。コンペ参加者を事前に募る形式とし、最終案提出までに木質フローリングへのプリント技術を知るためのレクチャーや同社のショールーム見学などを盛り込んだ。本年度はキャリア支援プログラムの側面を強化し、現場見学を1dayインターンシップと位置づけて実施。学生のキャリア意識の醸成にもつながった。コンペ結果も美術工芸学科生や京都文化日本語学校生が受賞し、多様なデザイン力を示すことができた	12名	無
23	バプテスト病院ギャラリー作品展示	2017.04-2018.03	日本バプテスト病院	日本バプテスト病院内にあるカフェ「オーリーブ」に作品を展示し、病院を利用する患者様・医療スタッフなど様々な方にアートを楽しんで頂くことを目的としている。病院から頂いたテーマをもとに募集を掛け、採用された作品が展示されている。また作品展示、カフェに設置するポスター・チラシ・DMの作成も学生が行う。年間3回の募集、18名の学生が携わった。	18名	無
24	有限会社遊夢工房企業ロゴデザイン	2017.07-10	株式会社アート・ドゥ ビブレ	株式会社アート・ドゥ ビブレが新規事業として立ち上げたクリーニング事業会社の企業ロゴデザインをコンペ形式で実施。教員アドバイスのもと、複数の候補作についてブラッシュアップを行い、先方の厳正な審査に堪えるものを提供した。ただし先方の経営都合によりロゴデザインの採用自体が見送りとなった。	9名	無
25	DIGI CAMPUS KYOTO by MUTEK運営協力	2017.10-11	一般社団法人MUTEK Japan	2000年にカナダ・モントリオールでスタートしたデジタルアートのパフォーマンス・フェスティバル「MUTEK」の東京開催に関連して、京都造形芸術大学にて特別講義とパフォーマンスイベントを実施。その運営事務を受託した。当日はモデレーターである谷崎テトラ教授を含む3組のアーティストが出演。最先端のオーディオビジュアルアートを体験する機会となった。運営には映画学科をはじめ複数の学科から学生も参加した。	6名	無
26	高槻市都市緑化フェアポスター・チラシデザイン	2017.06-08	第33回高槻市都市緑化フェア実行委員会	第33回目となる高槻市都市緑化フェア(10/22開催)の集客増加を目指すため、チラシデザインのイメージを一新したいとの依頼を受けた。「花と緑にまつまれた未来を高槻に」をテーマに、小さな子どもがいるファミリー層や子どもをターゲットとして、明るく温かみのあるデザインを学生に自由に提案をしてもらい、コンペ形式で制作者を決定した。	4名	無

No	受託研究名	期間	助成・協力機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	まか通 -近代産業遺産アート再生プロジェクト	2017.04-2018.3	蒼山会補助	東山区に眠る地域資源をアートで再生するプロジェクト。2017年度は「Webの制作」「イベント」「拠点の使い方」という3チームに分かれて活動。陶器人形展示、地獄絵読み語り、鍾馗祭といったイベントに加え、まか通の活動拠点をどうやってまちの人に知っていただくかといった課題にも着手。「拠点の使い方」チームを中心に、お茶会や、クリスマス会を開催。まちのこどもたちが集まって活動拠点を盛り上げた。また、アートで稼ぐ事も目標の一つとし、各イベント時や、まちの市場、お祭りの場でメンバーが作った作品の販売も行った。	27名	有
2	アートフェスタin大山崎町	2017.11-2018.04	蒼山会補助	「大山崎町のことをもっと好きになる」をコンセプトにアートイベントを継続してきた本プロジェクトは11回目を迎えた。今年は例年と違い、初となる春に、伝統の日使頭祭に合わせて開催した。メンバーは「PR班」「ライトアップ班」「WS班」「ライブ班」に分かれ活動を進め、大山崎の町の事を調査し、半年間の成果を本番で発表した。地域住民や自治体とも連携し、雨の影響もあった中、3日間の開催で来場者数は1000名を越えた。	15名	有
3	学園祭見世物小屋プロジェクト	2017.04-10	蒼山会補助 (来場者売上あり)	瓜生山際の大人気企画の一つであるお化け屋敷を企画立案・制作・広報・運営まで行うプロジェクト。プロジェクト設立10年目となる今回は、幼稚園を舞台とした、人間の怖さを追求した「針の華」というタイトルに決定した。より世界観に浸ってもらうためにストーリーと関連のある広報活動を行い、開催前から関心を寄せることに成功した。当日は台風の悪天候の為1日だけの開催となってしまったが、会場である創々館内には長蛇の列ができ、歴代最長のコースに満足される声を多く聞くことが出来た。 2017年9月16日開催/売上金402,187円/入場者数769名	49名	有
4	びわ湖ホールサポートプロジェクト	2017.06-2018.3	公益財団法人びわ湖芸術文化財団	2014年度に結んだ教育連携協定に基づく同ホールとの連携事業をリアルワークプロジェクト化し、3年目の実施。「びわ湖シアターメイツ」向けの公演、演出プラン考案、舞台美術制作、出演を学生が担う。またプロの舞台スタッフとの協働の他、本学と同じく、この事業の連携大学先である立命館大学、成安造形大学の学生との交流も盛んに行われた。 公演日：2018年3月17日(土)	33名	有
5	台湾国際交流プロジェクト	2017.10-2018.02	アーバンアート	2010年より台南市にて開催する国際的なアートイベント「月津港燈節(ランタンフェスティバル)2018」に、海外アーティストとして招聘され、川辺に設置される作品を出展した。テーマ「出逢い」に基づき、デザイン企画、計画、現地での制作過程での地元の方との交流も積極的に行い、大きな光のオブジェ3点を完成させた。(展示期間:2/10~3/4 展示場所:台南市鹽水區月津港親水公園)	16名	有
6	東山花灯路	2017.10-2018.03	京都・花灯路推進協議会	2003年度より毎年3月に開催、京都の春先に行われる歴史的な文化遺産や風情ある景観・街並みを「灯り」と「花」で演出するイベント内の企画「大学のまち伝統の灯り展」に、本年度は台南芸術大学(台湾)の大学院学生とのコラボレーション作品3点を出展。デザイン企画、制作、搬出入、スケジュール全般の管理を行った。(展示期間:3/9~18 展示場所:大谷祖廟参道)	8名	有
7	ミス・パールプロジェクト	2017.04-2018.02	株式会社カムデン	真珠の価値を若い世代に伝えることを目的とした本プロジェクトも4年目を迎えた。今年度はビジネスとしての本格化に主眼を置き、とくに商品開発では高島屋京都店バイヤーによる定期的なチェックを導入。お客様に指示される商品作りを意識的に行い、クリスマス期間には3週間におよぶ出店を実現した。SNSでは芸大生らしいイラストによる発信をインスタグラムを中心に実施し固定ファンを獲得した。恒例のミス・パールコンテストも継続。今回はとくに1年生主体のプロジェクトチームで学園祭に向けた準備を行い、成功に導いた。	30名	有
8	京造イルミネーションプロジェクト	2017.07-12	蒼山会補助	本学玄関を利用したイルミネーション装飾。今年は、例年と違い、柱には1つも電飾を取り付けず。頂点から大階段へ直接電飾を下ろし、プレゼントボックスに見立てた重りで固定した巨大なツリーを演出。今回一番のこだわりは「昼でも楽しめるイルミネーション」という事で、大階段にはシンボルとなる巨大リース、その台の周辺には地中海の街並みをイメージした家々のオブジェを設置。夜になるとこの家も窓から灯りが漏れる仕掛け。点灯式では、寒空の中で温かい飲み物を提供するイベントを開催。	18名	有

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	WE BASE HAKATAモニュメント《シブスキャット》作品制作、輸送、設置費	2017.05-12	株式会社レーサム・ヤノベケンジ	ヤノベケンジの新作巨大彫刻作品《シブスキャット》の制作(SHIP'S CAT)と、電気自動車メーカーと共同開発する「時速100キロで走る彫刻作品」(FUTURE CAR)を制作する「ヤノベケンジ SHIP'S CAT & FUTURE CAR」プロジェクトの中で、2017年に新たにオープンしたホステルWeBase博多に恒久設置された《SHIP'S CAT》を制作した。学生はホステルと作品のプロモーション映像にも参加した。	17名	有
2	WE BASE KAMAKURAモニュメント《SHIP'S CAT》作品制作・設置費	2017.05-12	株式会社レーサム・ヤノベケンジ	ヤノベケンジの新作巨大彫刻作品《シブスキャット》の制作(SHIP'S CAT)と、電気自動車メーカーと共同開発する「時速100キロで走る彫刻作品」(FUTURE CAR)を制作する「ヤノベケンジ SHIP'S CAT & FUTURE CAR」プロジェクトの中で、2017年に新たにオープンしたホステルWeBase鎌倉に恒久設置された《SHIP'S CAT(Harbor)》を制作した。また、一連の《SHIP'S CAT》シリーズのカタログ用制作のため、この作品の大阪港での作品撮影にも参加した。	17名	有
3	FUTURE CAR 制作プロジェクト 作品制作費	2017.05-12	GLM株式会社・ヤノベケンジ	ヤノベケンジの新作巨大彫刻作品《シブスキャット》の制作(SHIP'S CAT)と、電気自動車メーカーと共同開発する「時速100キロで走る彫刻作品」(FUTURE CAR)を制作する「ヤノベケンジ SHIP'S CAT & FUTURE CAR」プロジェクトの中で、GLM株式会社より車体のプラットフォームと技術提供を受け、車体の採寸から、コンセプトとデザインのリサーチを行い、出来上がったヤノベのデザイン画から3Dモデリングデータの作成を行った。	17名	有
4	銀座蔦谷書店クリスマスイベント《SHIP'S CAT》作品搬入・設置費	2017.12	ヤノベケンジ	プロジェクトで学生と制作したヤノベケンジの巨大な猫の彫刻、《SHIP'S CAT(Harbor)》と《SHIP'S CAT(Black)》の2体を、GINZA SIX内にある銀座蔦谷書店で開催されたイベント「猫とアートとクリスマス」の期間に合わせて展示し、その設置をウルトラファクトリーが請け負った。	2名	無
5	ハスラー・アキラRAF出品作品制作	2017.02-07	一般社団法人 Reborn-Art Festival・ハスラーアキラ	ゲイ、HIV/AIDS、反原発や反差別などのカウンターカルチャーを跨ぐように独自の制作活動を行うハスラー・アキラの作品制作に関わるプロジェクト。東北再生のために牡鹿半島、石巻市など各地で開催される「Reborn-Art Festival 2017」で発表する新作をウルトラファクトリーで制作した。学生は作品のリサーチ段階から関わり、潜在制作を行う作家とのコミュニケーションを通して、リアルなアーティストの制作現場を経験するとともに、さまざまな社会運動にも関わる作家との対話から社会とアートの交わりについて深く学ぶことができた。	3名	無
6	増田セバスチャンRAF出品 ツリーハウスパーツ制作	2017.05-07	一般社団法人 Reborn-Art Festival・エルエルエス	2017年7月22日(土)から9月10日(日)まで宮城県石巻市で開催された「Reborn-Art Festival 2017」で増田セバスチャンが発表するツリーハウス型の作品を制作するプロジェクト。学生はツリーハウスの外側および内部の装飾を手がけ、東北での設置にも参加した。「Reborn-Art Festival 2017」では石巻、牡鹿半島の市街地や山、海などいたるところにアーティストの作品が展示され、増田セバスチャンと学生がこのプロジェクトで共に作ったツリーハウス《あっちとこっち #東北》は金華山を臨む牡鹿半島の先端の広大な自然の中に設置された。	7名	無
7	宮永愛子RAF出品作品制作	2017.05-07	一般社団法人 Reborn-Art Festival・宮永愛子	本学卒業生でもある美術作家、宮永愛子によるこのプロジェクトでは、石巻市街と牡鹿半島を舞台にした「現代アート」「音楽」「食」の総合祭「Reborn-Art Festival 2017」で展示されたインスタレーション作品の制作に携わった。この土地の豊かな山と海の象徴として牡蠣養殖の「浮き」をモチーフとした作品は、牡鹿半島の浜浜にある洞窟の中から浜辺まで繋がるように展示された。学生は現地視察で作品の発想に立会い、その後の制作から洞窟での設置まで全ての工程に携わり、宮永の作品制作のプロセスを目の当たりにした。	3名	無
8	USD株式会社オフィス展示作品コーディネートおよび設置	2017.04-06	USD株式会社	ホテルアンテルーム京都の母体であるUSD株式会社の新オフィスに設置するアート作品のコーディネートをウルトラファクトリーが請け負った。オープニングではヤノベケンジの作品が貸し出されたほか、リノベーションを手がけるUSDからの展開を覗み、建築と相性のよい永瀬正敏と制作した写真作品、および、ウルトラアワード2016選出作家の浦田シオンの作品を選定し、設置。両作品はUSDが買い取った。	1名	無

9	ULTRAxANTEROOM exhibition 2017 協賛金	2017.07-08	UDS株式会社 ホテルアンテルーム 京都	京都のアートやカルチャーの発信をコンセプトとする「ホテルアンテルーム京都」の依頼により展覧会を企画、開催。アート関係者やアートに興味のある人たちが集まる場所柄、本学出身の作家の広報と、若手の発表と育成の場となることをねらい、「ULTRA GIRLS COLLECTION」と題し、シドニービエンナーレに選出された井上亜美、高島屋京都店のウィンドウでも展示した油野愛子ら、勢いのある6人の女性作家を選出し開催した。フォトジェニックな作品が多く、インスタグラムに多数アップされたほか、会期中には、清川あさみ氏を招いたトークショーを開催し話題を集めた。	6名 (卒業生・職員を含む)	無
10	MASK「Open Storage 2017」作品の設営	2017.08	おおさか創造千島財団	大阪、北加賀屋の工場・倉庫跡に大型の美術作品を收藏しながら展示する「MASK(MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)」で開催した「Open Storage 2017 ―見せる收藏庫―」にてヤノベケンジ作品の展示設営を行った。	8名	無
11	重陽の芸術祭	2017.8-11	重陽の芸術祭実行委員会	ヤノベケンジの新作巨大彫刻作品《シブスカット》の制作(SHIP'S CAT)と、電気自動車メーカーと共同開発する「時速100キロで走る彫刻作品」(FUTURE CAR)を制作する「ヤノベケンジ SHIP'S CAT & FUTURE CAR」プロジェクトの中で、「重陽の芸術祭」(福島)に展示する《SHIP'S CAT(Black)》を制作した。	17名	有
12	graf 蜀台製作	2017.7	有限会社デコラティブモードナン パースリー	grafデザインの蜀台を、ウルトラファクトリーで金属加工の技術を学ぶ学生がスタッフの指導の下製作、納品した。プロダクト製品レベルの精度を学ぶ機会となった。	2名	無
13	成田令真作品販売手数料	2017.09	成田令真	ホテルアンテルーム京都で開催した「ULTRA GIRLS COLLECTION」展で、ホテルのエントランスに看板のように展示していた作品が宿泊客の話題となったこともあり、ホテルが作品を買取った。	1名	無
14	KYOTO EXPERIMENT research light (*design)	2017.05-11	株式会社 ドットアーキテツ	さまざまなデザイン領域を統合し、あらゆる視点から見つめ直すデザインプロジェクト「*design」で、「KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2017」の公式プログラムとして、プロジェクトディレクターの原田祐馬(UMA / design farm)と、家成俊勝(dot architects)を中心としたチームが手がけた『何もある』に関わった。街の風景にキャプションを設置して、場所の新しい見え方を促す試みであるこの作品を制作するために、学生は京都の歴史を掘り起こすリサーチからはじめ、イメージを想起させる言葉選び、色やフォントなどのデザインや、展示物の構造などについて試作を繰り返しながら、実際の設営まで携わった。	17名	有
15	ULTRA GLOBAL AWARD 2017	2017.04-2018.03	本学自主企画	第8回目となった2017年は、さらなる国際的な視野の導入と、国際舞台で活躍する機会提供の強化を図り「ウルトラ・グローバル・アワード」として刷新した。キュレーターに片岡真実氏を招聘し、これまでで最多となる71名の応募者の中から、展覧会テーマ「新しい泉のための錬金術―作ることと作らないこと」に応答する10名の作家が選抜された。ドリュエン・チョン氏(M+副館長兼チーフ・キュレーター)が国際審査員として単独で賞を決定する最終審査会では、「チョン氏の展覧会で出展させるなら」という視点で真摯に評価した結果、映像作品の内田恵利が最優秀賞を受賞した。また、東京展での出品した学生にはそれを見据えた指導や、展示構成の試行となり、準備機能も果たした。	10名(卒業生含む)	無
16	ULTRA SANDWICH PROJECT	2017.05-2018.03	本学自主企画	名和晃平が主宰する、クリエイティブ・プラットフォーム「SANDWICH」における制作、企画、運営に学生が参加するプロジェクト。アーテリスト、建築家、デザイナーなど、国内外からさまざまなクリエイターが集い進行する複数のプロジェクトに関わる。2017年は名和の上海での個展や、東北の「Reborn-Art Festival 2017」へ出品の作品に関わったほか、東京オリンピックの文化リーディングプロジェクト「東京キャラバン」の京都(二条城)でのパフォーマンス公演(2017年9月2日(土)、3日(日))では、ステージ美術の構想から設営までに参画した。	19名	有
17	kumagusukuプロジェクト	2017.05-2018.03	本学自主企画	京都の宿泊型アールスペースkumagusukuでのさまざまな活動に参加するプロジェクト。2017年は、現在進行中の2号館「kumagusukuB.C.」の立ち上げ準備を中心に活動する。2号館は映像作品の鑑賞を主な目的としたアールスペースが中心となっており、ホテル、ギャラリー、ショップ、イベントスペース、飲食店などを併設した複合型アート施設を予定し準備中。学生たちはウルトラ工房内にてB.C.客室の実物大模型を制作し、実寸で客室の検証を行った。	20名	有

18	淀川テクニック！プロジェクト	2017.05-11	本学自主企画	「ゴミ」を使い、最先端のアートとして世の中に衝撃を与える作品を制作するアートユニット、淀川テクニックの柴田英昭が率いるプロジェクト。プロジェクトは、学生たちが実際に淀川でゴミを収集するところから始まり、持ち帰ったゴミをよく洗って、色分けし、作品の素材に変える工程を経て、淀川テクニックの作品制作やワークショップに使用された。さまざまなアートイベントへの参加経験やプロジェクト内でのミーティングの積み重ねにより、学生たちはワークショップを考案したり作品のことを深く理解する力を身につけた。	7名	有
19	山本太郎 熊本「ものがたりの屏風」制作プロジェクト	2017.05-08	本学自主企画	現代の風俗と日本の古典絵画が混在した日本画ならぬ「ニッポン画」を提唱する画家の山本太郎とともに、2016年4月の熊本地震により廃業することとなった森本襖表具材料店に残された屏風の材料を使い、地震で被害にあった熊本の人たちの思い出の「ものがたり」を作品にするプロジェクト。現地でフィールドワークやワークショップを通じて、熊本で暮らしているさまざまな年代の人たちの「思い出」とそれに関わる「もの」をリサーチし、その品々をモチーフとして屏風を制作した。出来上がった屏風作品は2017年11月18日(土)から2018年2月19日(月)に熊本市内で行われた「島田美術館 開館40周年記念展覧会「おもかげものがたり」山本太郎作品と館収蔵品と」にて発表された。	4名	無
20	Japan Handmade	2017.05-2018.03	本学自主企画	西陣織の老舗、株式会社細尾が所蔵する江戸時代からの手書きの帯図案約2万点をデジタルアーカイブ化し、伝統素材を世界のラグジュアリーマーケットで戦う武器へと変換していくプロジェクト。図案のデジタルアーカイブを進める傍ら、図案を使用したチョコレート、タイル、トイレトペーパー、ブックカバー、特攻服、ショーウィンドウなど、アーカイブから展開した企画を各々で考案し、実作しながら、提案書としてまとめ、プレゼンを行った。いくつかの企画は実現に向けて動き出しつつある。また、このプロジェクトで作成した図案の反転画像を使用した映像と実際の図案が2017年10月からドイツのニュレンブルグ、NEUES MUSEUMで開催された『Excursions into Japanese aesthetics』で、杉本博やIssey Miyakeなどの作品とともに展示された。	13名	有
21	BYEDIT	2017.05-2018.03	本学自主企画	「編集」の力をつかひながら、モノはつくり、出来事やメディアを作り出すプロジェクト。毎週企画編集会議を行い、独自の切り口からイベントや冊子、ウェブサイトなどを企画、制作する。2017年度は、「図鑑」をテーマにワークショップを行い、下宿飯図鑑を制作。また、マテリアル京都との協働で、編集をテーマにしたイベント「オッス！編集」を3回のシリーズにわたって開催した。そのほか、ウルトラ倶楽部活動のひとつであり、ネットで話題になった「コラーージュ川柳」の紹介本、ウルトラの年刊誌「THE ULTRA」の記事の企画・編集・執筆を担当した。	8名	有
22	阿部順之介 トイスペースシップ作戦	2017.05-08	本学自主企画	世界各国で販売されるフィギュアの原型制作を数多く手掛けるフィギュア原型師、阿部順之介が、ホビーとアートの融合を追求して設立したトイブランド「RESTORE」のオリジナルトイを搭乗させる宇宙船を学生とともに制作した。学生たちは、阿部の細部までこだわりぬかれた造形を目の当たりにしながら、原型作成から着色による仕上げまでプロフェッショナルな仕事に携わった。	2名	無
23	やなぎみわ演劇プロジェクト	2017.05-2018.03	本学自主企画	美術作家でありながら、演劇の世界に活動の場を広げるやなぎみわによるプロジェクト。台湾で制作、日本に初輸入された「ステージトレーラー」を舞台装置として2016年6月から日本各所で野外公演を行っていた中上健次原作『日輪の翼』(演出・美術:やなぎみわ)の京都公演が河原町十条の特設会場にて2017年9月14日(木)から17日(日)までの4日間行われた。学生達の活動は脚本理解のための勉強会から開始し、京都芸術センターで行われた公開クリエイション、城崎国際アートセンターでの滞在制作(稽古)へも参加。小道具制作、衣装の調整や、大人数に及ぶプロジェクトチームの食事の炊き出しなど、裏方で演劇を支える一員として活動を行い、リハーサル、本番まで演劇公演にかかる一部始終を経験した。	10名	有

4-(1)-⑩ 産官学連携

アート・コミュニケーション研究センター

平成30年5月1日

アート・コミュニケーション研究センター受託関連

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	愛媛県美術館・博物館・小中学校共働による人材育成事業	2017.6.4-2018.3.31	愛媛県美術館	本学アートプロデュース学科・アート・コミュニケーション研究センターでは、2015年度より愛媛県美術館が行っている「愛媛県美術館・博物館・小中学校共働による人材育成事業」に、外部専門家として協力している。同事業は対話型鑑賞を小中学校の教科教育に応用し、新学習指導要領に対応する指導法の開発・普及を目的としている。今年度は授業実践観察・評価および教材開発を目的としたコンテンツ編集会議における助言を行った。	無	無
2	総合職2級昇格者研修	2017.6.6-7、8.29-30	住友理工株式会社	住友理工株式会社の総合職2級昇格者を対象とした階層別研修に、本センターの伊達と岡崎が登壇した。「対話型リーダーシップ」をテーマとし、レクチャーとワークショップ、ACOPによる作品鑑賞を行った。	無	無
3	5年組合員研修	2017.6.10	小泉産業グループユニオン	小泉産業グループユニオン主催の「5年組合員研修」に、本センターの岡崎が登壇した。業務に直接関わる知識の獲得よりも、参加者に内発的な気づきや知的な刺激を持ち帰っていただくことを目的とし、講義とワークショップ、ACOPによる作品鑑賞を行った。	無	無
4	総合職1級昇格者研修	2017.6.12-13、7.24-25	住友理工株式会社	住友理工株式会社の総合職1級昇格者を対象とした階層別研修に、本センターの伊達と岡崎が登壇した。「対話型チームワーク」をテーマとし、レクチャーとワークショップ、ACOPによる作品鑑賞を行った。	無	無
5	社内公募型研修「@ (アット)」	2017.7.1-2、8.19-20、2018.1.27-28、3.3-4	パーソルホールディングス株式会社	パーソルホールディングス株式会社主催の社内公募型研修「@ (アット)」は、“遊ぶように学ぶ”というコンセプトのもと、NPO法人や社外企業と連携し、課題解決ワークショップやアート鑑賞、演劇など、社員研修としては珍しい手法も取り入れながら、変化に合わせ自律的に挑戦する社員の育成を目指している。同研修に伊達と岡崎が登壇し、レクチャーとワークショップ、ACOPによる作品鑑賞を行った。なお、3月研修の様子は、NHK BS1「経済フロントライン(3月24日放送)」の「どう共存？人間とAI」というテーマ内で、人間にしか備わっていない創造力・コミュニケーション力を高める方法として紹介された。	無	無
6	PARC「鑑賞ワークショップ」	2017.9.24	一般社団法人PROJECTA	札幌駅前通まちづくり株式会社主催「Public Art Research Center[PARC](パーク)」内のワークショップ『「わからない…」そこから始めるアート鑑賞』に本センターの岡崎が登壇した。現代アートを鑑賞する面白さを体験することを目的に、レクチャーとワークショップを行った。	無	無
7	OpenStorage2017「鑑賞プログラム」	2017.11.12-13	一般財団法人おおさか創造千島財団	一般財団法人おおさか創造千島財団主催の展覧会「OpenStorage 2017」(11/12 - 13)において、本学アートプロデュース学科・アートコミュニケーション研究センターが協力し、昨年度に引き続き対話型の作品鑑賞プログラムを開発・実施した。	ASP学科学生4名	無
8	新入社員総まとめ研修	2017.12.14-15	住友理工株式会社	住友理工株式会社の新入社員を対象に「新入社員総まとめ研修」と銘打った1.5日間の研修を実施した。研修の目的は「これまでの経験を振り返り、自分の行動について考え、今後周囲の人と仕事をする術を知る」「常にPDCAサイクルを繰り返し、自律的に学び続ける習慣を身につける」とし、当日は伊達と岡崎が「みる・考える・話す・聴く」をテーマに、講義と複数のワークショップを行った。	無	無
9	総合職入社2年目フォロー研修	2017.3.17	住友理工株式会社	住友理工株式会社の総合職入社2年目社員を対象に、「論理的な考え方や話し方について、振り返りと深掘りを行い、さらに向上させる」ことを目的とした研修が実施された。当日は岡崎が登壇し、レクチャーとワークショップを行った。	無	無
10	出張授業参与観察	2018.1.26、3.30	大阪府立江之子島文化芸術創造センター/enoco	大阪府江之子島文化芸術創造センターが展開しているenocoコレクションキャラバン事業プログラムのブラッシュアップを目的に、出張授業の参与観察、次年度以降の事業に関する提言を行った。	無	無

アート・コミュニケーション研究センター主催事業

1	免許状更新講習「コミュニケーション・スキルアップの3日間！」	2017.7.29-31	-	2009年、2011年～2016年に引き続き、2017年度も、「コミュニケーション・スキルアップの3日間！」と題し、本学を会場に開催。講師として本センターから、福、伊達、北野、岡崎、青山の5名が参加。また三重県総合博物館館長である大野照文氏を招き、美術教育、理科教育、臨床心理学と、多様な視点から「コミュニケーション」をテーマにレクチャーやワークショップを実施した。	ASP学科学生3名	無
2	阪大ELSIプロジェクト	2017.4.1-2018.3.31	-	2016年度より、大阪大学、京都大学と研究開発プロジェクト「先端生命科学を促進する先駆的 ELSI アプローチ」を進めている。2017年度は、先端生命科学における倫理的課題に関して、一般市民の声を集めることを目的としたワークショップで使用する、ポップアップブックの監修を行った。	無	無

4-(1)-⑩ 産官学連携

プロダクトデザイン学科

平成30年5月1日

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	企業研究II	2017.05-09	大商硝子株式会社	昨年度に引き続き、大商硝子とのガラス瓶をテーマにした産学連携授業を行った。大商硝子はガラス瓶の製造メーカーで、大手薬品メーカーをメインクライアントにして珪ガラスという白色ガラスの製造に特徴がある。そこで、珪ガラスを使用した容器の提案を行った。企業によるテーマ説明の後、徳島鳴門工場への工場見学を行い、中間検討会の後、社長、デザイン室長、製造部長へのプレゼンテーションを行い高い評価を得た。2年間の成果を2018年2月のギフトショーのブース内に展示し会社のPRとなった。	8名	有
2	PD総合IV A	2017.09-2018.02	ムラテックKDS株式会社	ムラテックKDSは村田機械のグループ会社として、コンベックス(巻き尺)やレーザー水準器などの開発製造を行うメーカーである。今回、同社と「測る」をテーマに産学連携授業を設定した。企業によるテーマ説明の後、販売現場のリサーチ、中間検討会の後親会社の村田機械本社にて、ムラテックKDSデザイン部署、村田機械デザイン文書のメンバーにプレゼンテーションを行い高い評価を得た。	8名	有
3	PDプロジェクトII・IV	2017.04-07	株式会社 アクタス	アクタスが取り扱っている商材のデザイン。書籍『123人の家』に掲載されているお宅訪問を行い、現地調査を実施。その調査結果を分析して、ポイントを探り出し、ポイントを元にコンセプトを立案。コンセプトは先方へプレゼンし、FBを頂き、それを元にデザインを実施。最終デザイン案は改めて先方へプレゼンして評価を頂き、大変好評を得た。	14名	有
4	PDプロジェクトIII・V	2017.10-2018.02	富士通株式会社	富士通株式会社とUXデザイン並びにプロダクトデザインの開発を「京都駅八条口の円滑化」をテーマにコラボレーションにて実施。UXデザインの第一人者を担当者に選定頂き、毎週ご来校頂き木目細かな指導で、ともしれば希薄になりがちのUXデザインの基本から展開に関してのレクチャーと実践をご教示頂きデザイン案の提示に結実した。また大阪瓦斯研究所やTAKRAM等の第一線のエキスパートとの交流も組み入れ充実した産学共同活動に繋がった。	14名	有

情報デザイン学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定 (有/無)
1	駅ナカアートプロジェクト	2018.01-06	京都市交通局	「ディスカバー“地域”」をテーマに、地域の魅力を広く地下鉄利用者へ情報発信することを目的とし、地下鉄駅構内におけるアート作品制作による演出をおこなった。本学は東西線東山駅を担当。	6名	無
2	スカイロケット ロゴマーク&ロゴタイプ の制作	2017.12-2018.03	(株)スカイロケット	新たに撮影スタジオを開設されるにあたり、会社名であるロケットをモチーフにしたロゴタイプ&ロゴマークを考えて欲しいとの依頼があり、学生5名が提案をおこなった。最終決定したロゴタイプ&ロゴマークは採用され、名刺やカタログなどの印刷物、ホームページなどにも使用された。 https://www.sky-rockets.com	5名	無
3	HOP STEP NIFREL	2017.06-07	(株)海遊館	生きているミュージアム「ニフレル」と、情報デザイン学科3年生の共同プロジェクト。プロジェクトのためにグループ編成された学生たちは、5つの展示ブース(「色にふれる」「技にふれる」「かたちにふれる」「水辺にふれる」「動きにふれる」)へのリサーチを重ね、学生たちの柔軟なアイデアを活かしながら、今までにない新たなブース提案と、それをより多くの方々へ伝えるための広告展開に挑んだ。ニフレルでは館内に特設ブースが設置され、生きものとの多様な関わり方を、多くの来場者に楽しんでいただけた。テーマである「HOP STEP NIFREL」には、助走を経て、ステップの次となる新たなチャレンジにニフレルが挑むという思いが込められている。	23名	有
4	齊藤酒造ラベルデザイン	2017.10-11	齊藤酒造(株)	京都、伏見の英勲・齊藤酒造株式会社との共同プロジェクト。齊藤酒造が扱う日本酒「鬼ころし」のラベル・デザインに、情報デザイン学科の3年生が挑んだ。「鬼ころし」の流通先はカナダ・バンクーバー。言語、生活、食など、あらゆる文化や様式の異なる人々に、どのようにして鬼ころしの味や魅力を伝えることができるか。学生たちは、酒蔵見学や現地の流通メカとのミーティングを重ね、遠い海外と京都のお酒の共通項を導き出し、各々のラベルデザインをつくり上げ、提案していった。当プロジェクトは継続中で、最終的には商品のラベルデザインとして、実際に流通されることを目標にしている。	23名	有

映画学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定(有/無)
1	北白川派映画製作『嵐電』(鈴木卓爾組)	2017.10-2019まで継続予定	※有限会社オムロと映画学科の共同製作	2017年、休止中であった映画学科の「北白川派プロジェクト」が待望の再スタート、その記念すべき第一弾として、監督に『ゲゲゲの女房』などの鈴木卓爾を迎え、京都の嵐山電車を舞台に「その電車に乗ったら二人は永遠に会えなくなる」という不思議な妖怪電車の都市伝説を絡めながら、男と女、人の出会いと別れを描く。撮影には京福電鉄、東映京都撮影所他、地元京都に愛され親しまれる関係各社が全面協力。主演は、北白川派映画では『彌勒』に続いて二度目の参加となる井浦新。また、北白川派第二弾『MADE IN JAPANーこらっ！ー』で在学中にデビューし、卒業後も活躍中の大西礼芳が凱旋出演を果たしている。2019年度全国公開予定。	42名	有

アートプロデュース学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定(有/無)
1	Part-time Suite個展「私を待って、墜落する飛行船の中で。 Wait for Me in a Crashing Airship」	2017.07-09	東アジア文化都市2017京都実行委員会	2017年に京都市で開催された「東アジア文化都市2017京都 アジア回廊現代美術展」の特別関連事業として、ARTZONEを会場に、韓国・ソウルを拠点に活動するアーティスト・ユニットPart-time Suiteの個展「私を待って、墜落する飛行船の中で。/Wait for Me in a Crashing Airship」を開催。	10名	有
2	日中韓 文化芸術教育フォーラム 2017	2017.11	文化庁、京都市、東アジア文化都市2017京都実行委員会	文化芸術の教育活動を通じて日中韓の関係を深めていくフォーラム(11月3日開催)に参加し、上述のPart-time Suite個展の開催について報告、他の登壇者と議論を展開した。	10名	有
3	リサーチプロジェクト(2015年度まで:美術館調査)	2016.04-2017.03	調査対象者(美術館・アートセンター)	全国の美術館や公共施設、芸術祭などアートにまつわる場所・環境を調査対象とし、学生の素朴な疑問を出発点にアンケートを作成。集計・分析し、芸術と文化の現状および問題点を明らかにする。完成した報告書は一般販売。	18名	有
4	豊島プロジェクト	2016.04-2019.03(予定)	香川大学	香川大学との科研費による共同研究。瀬戸内国際芸術祭の会場のひとつである豊島を題材に、定住者、移住者、観光客の3つの方向性調査を行った。	2名	無

空間演出デザイン学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定(有/無)
1	デザイン視点からの島の魅力化	2014年～	海士町教育委員会	島根県隠岐島郡海士町にて滞在制作を行う。またメディアで知ることのできないさまざまな島民個人の思いにも耳を傾け、2015年度にはカフェのデザイン・運営や、おみやげ・お守りの制作販売を行った。2016年度は引き続きカフェの運営等を行い、2017年度は名産品の『塩』に目をつけ、『塩』を味わうための媒体としてフレンチプライズ屋運営を行った。	約20名	有
2	京都ブランド「SOU・SOU」コラボレーションプロジェクト	毎年	若林株式会社とのコラボレーション	SOU・SOUの名前を冠して空ブランドを立ち上げ、弥生時代に生まれた貫頭衣をベースに三重県の伝統工芸品である伊勢木綿と静岡伝統布のモスリンを使用して服や小物の企画、デザイン、制作、展示会での販売までを行う。	18名	有
3	パブリックインデザインとしてのディスプレイ	毎年	DMOアーツ・株式会社UMMMとのコラボレーション	商業施設における販売促進のための空間演出デザインを株式会社UMMMとともに実践的プロジェクトとして、社会発信していくことを目的としている。DMOアーツ協力のもと、ルクアイーレにて展示販売を行った。	23名	有
4	LOOKS GOOD FEELS GOOD IS GOOD	毎年	株式会社CHIMASKI	雑貨またはジュエリーを制作し、株式会社CHIMASKIとともに恵文社での展示販売を行った。制作にあたってはみずのき美術館(亀岡)の障害者の芸術をモチーフ、背景とし、新鮮な刺激と交わって取り組んだ。	23名	有

環境デザイン学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定 (有/無)
1	小豆島馬木地区「醤油会館」周辺整備	2017.04-2018.03	小豆島町	瀬戸内国際芸術祭2016への参加をきっかけに、2014年度から「醤油会館」周辺の竹林瀬尾や庭の整備を地域住民とともに進めている。芸術祭終了後の2017年度も継続して周辺整備を行うこととなり、学生および教員の交通費が予算化された。	21名	無
2	世界照明探偵団in京都	2017.04-11	(株)ライティングプランナーズアソシエーツ	6/8～10に京都にて世界照明探偵団フォーラムin京都が開催され、本学、京都大学、京都工芸繊維大学、京都市立芸術大学の4大学が参加し、市内各所のライトアップを行なった。フォーラムに先立って、数回のミーティングや実験があり、終了後に展示とレクチャーを行った。	25名	無
3	映画「Simplify」京都市上映会	2017.4.3	株式会社ツリーヘッズ	竹内友一氏(株式会社ツリーヘッズ)プロデュース、ベン・マツナガ氏監督の映画「Simplify」の京都市内での上映会を企画。運営を辻村・ヤギゼミでサポートした。映画の内容はアメリカにおけるタイニーハウスムーブメントの現状を紹介するドキュメンタリー。会場は「D&Department Kyoto」。佛光寺境内では実物のタイニーハウスが設置・公開され、現代において小屋に住まうことの可能性と課題を、誰もがリアルに実感できる催しとなった。	6名	無

こども芸術学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定 (有/無)
1	なづな学園ワークショップ	2017年度	社会福祉法人 なづな学園	利用者とともにレクリエーションの一環でアート活動を行う。	10名	無
2	左京東山児童館学童保育所まつり	2017年度	京都市児童館学童保育連盟	子どもの楽園で開催される、広域児童館まつりでの工作ブース出展	10名	無

キャラクターデザイン学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定 (有/無)
1	ホテルWeBase博多	2017.04-09	株式会社レーサム 株式会社Webase	昨年度のホテル『WeBase鎌倉』に引き続き、福岡に開業する『WeBase博多』のビクトグラムを制作した。(2,160,000円) http://we-base.jp/hakata/access.html	18名	無
2	ホテルWeBase鎌倉・博多 Webサイトメンテナンス	2016.08-継続	株式会社WeBase 株式会社ユニモト	昨年度から継続して上記のプロジェクトのWEBサイトメンテナンスを受注のうえ、株式会社ユニモトへ再外注している。	—	無
3	株式会社DSテクノロジーズ HPデザイン	2017.10-2018.03	株式会社DSテクノロジーズ 株式会社icon	株式会社DSテクノロジーズのHP制作をキャラクターデザイン学科の学生が担当した。 https://www.ds-tech.co.jp/	10名	無
4	福井県おおい町地域活性化情報誌 企画デザイン	2017.10-2018.03	福井県おおい町 関西学院大学大熊研究室 福井テレビ	福井県おおい町と関西学院大学 人間福祉学部 社会起業学科 大熊研究室が進めるまちづくり政策に企画デザインとして参加した。	20名	無

マンガ学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定 (有/無)
1	宮井風呂敷PRポスター制作	2017.06-07	宮井風呂敷株式会社	授業として宮井風呂敷株式会社のPRポスターを制作した。受託が発生する案件ではなかったが、出来上がった作品を先方が気に入りポスターとしてパネルアップして店舗でも使用したいとのことで、選抜の3名には謝礼として一人1万円を直接頂戴した。	41名 うち、ブラッシュアップ3名	無

歴史遺産学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定 (有/無)
1	和中庵庭園の調査と保存活用	2017.09-2018.03	京都ノートルダム女学院中学・高等学校	京都ノートルダム女学院中学・高等学校より、敷地内の近代住宅「和中庵」の保存・活用について協力依頼があった。そこで、歴史遺産学科の演習授業の一部として、和中庵庭園の考古学的実習を行ったものである。なお、2018年度も継続する予定。	3年生 7名 2年生 17名	有
2	奈良県立民俗博物館所蔵資料の調査と保存修復	2017.04-2018.03	奈良県	奈良県立民俗博物館から所蔵資料の調査と保存修理について協力依頼があった。そこで同館との協定を締結し、歴史遺産学科の演習授業の一部として約20点の保存修理を行ったものである。成果は大学の学生作品展ならびに奈良県立民俗博物館における展示で発表した。	3年生 6名 2年生 18名	有
3	未整理古文書の調査とリスト作成	2017.04-2018.03	立本寺	古文書調査実習として、京都市内の立本寺と連携し、同寺所蔵史料の調査とリスト作成を行った。成果の一部は学生作品展で発表した。	3年生 7名 2年生 17名	有

美術工芸学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定 (有/無)
1	「縄文アート」体験授業と教員研修	2017.05	茅野市公民館	茅野市公民館及び教育委員会、尖石縄文考古館が地元の小、中、高校生向けに年1回行う体験授業。2017年度は午前中に縄文土器に触れた後、鑑賞教育も行った。午後からは土器をデザインし講評を行った。体験授業終了後、小、中、高校の教員研修で体験授業の振り返りと教育現場からの報告を共有した。	TA(ティーチングアシスタント)として油画コースの学生2名	無
2	INAXライブミュージアムイベントプログラム「どろの遊園地」	2017.08	株式会社LIXIL INAXライブミュージアム	INAXライブミュージアム主催のイベント内容の企画・運営。イベント期間中に常滑INAXライブミュージアム・どろんこ広場にてワークショップ他を実施。	10名	無
3	京都造形芸術大学×SOU・SOU×京都マルイ	2017.04-07	京都マルイ	つくり、展示し、販売するという一連の経験を積むことを目的としています。よい手ぬぐいデザインを考えることは当然のこと、それ以外にグループで動くための役割・レイアウト、販売促進、経理、連絡、プレス対応などをこなすこと、モノが出来上がるまでの「コスト」を正確に把握し価格決定に必然性を持たせること、現場で接客することなど、たくさんの仕事をこなさなければなりません。ともすれば「つくること」一辺倒になりがちな芸大の授業のなかで、ものづくりの周辺には多くの仕事があり、その枠組みのなかでモノは動いていることを知ることが目的です。	20名	有
4	記憶の劇場	2017.04-2019.02予定	大阪大学総合学術博物館	平成30年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」による助成を受け大阪大学総合博物館と共同で「自然科学に親しみ・触る・アートする」をテーマにレクチャー・作品制作・展示会を行う。本年度3年目を迎え完成とする。	6名	無
5	「芸術がある町」まちづくり事業	2017.08-09	鹿児島県湧水町	鹿児島県湧水霧島アートは旅推進事業に基づき、湧水町との交流イベントやアート作品の制作・ワークショップを行い、芸術の町づくりを行う。	9名	無
6	ARTCOM2017	2017.07	京都府精華町けいはんな記念公園	京都府文化学研都市における水景園での野外彫刻展ARTCOM2018の展覧会を実施。地域文化と芸術の社会還元を行う。授業の一環として毎年開催している。	26名	有

4-(1)-⑩ 産官学連携

日本庭園・歴史遺産研究センター 歴史遺産研究部門

平成30年5月1日

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	国立民族学博物館「標本資料の保存管理手法の研究」	2017.5.25～ 2018.1.31	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立民族学博物館	国立民族学博物館所蔵の標本資料について、館から支給されるマニュアルに基づいて資料の材質・状態調査を行い、資料の破損・劣化箇所等を「点検情報基本カード」に記録し、保存科学研究の基礎データを作成する。	有(院生2名/学部8名)	無
2	芸術館所蔵浮世絵資料 保全処置業務	2017.4.1～ 2018.3.31	京造形芸術大学 芸術館	※学内業務 芸術館所蔵の、浮世絵資料に付着した粘性の物質の除去および保全処置、マウント作業。	有(院生3名/学部31名)	無
3	「学校収蔵民具の再発見事業」普及啓発事業	2017.4.6～ 2018.3.31	学校収蔵民具の再発見事業実行委員会	パネル展「学校収蔵民具の紹介展」におけるパネル製作・展示準備作業補助	有(院生2名/学部6名)	無
4	真田山旧陸軍墓地の墓石に関する調査および強化処理	2017.4.1～ 2018.3.31	公益財団法人 真田山陸軍墓地維持会	真田山旧陸軍墓地における墓石の劣化状態調査結果に基づくC～Dランク墓石の強化処理の研究を行う。	無	無
5	ドイツ館 紙資料の保存に関する調査研究	2017.9.18～ 2018.3.23	鳴門市	ドイツ館所蔵の酸性紙資料を、ドイツ館学芸員と共に種類別に分類し代表的な資料を分析・また成分を詳細に調査する。保存処置方法を明確にするための基礎調査として、理化学的分析を行う。	有(院生2名)	無
6	岐阜県美術館蔵 山本芳翠筆「洋風人物画」色材 蛍光X線分析	2017年10月	有限会社 墨仙堂	岐阜県美術館蔵 山本芳翠筆「洋風人物画」の色材を蛍光X線を用いて分析する。	有(院生1名)	無
7	田川市 酸性紙・ブルーブラックインク劣化メカニズムおよび処置方法検討の為の共同研究	2017.4.1～ 2018.3.31	田川市	近現代紙資料およびブルーブラックインクに対する処置方法を、共同で研究する。	有(院生1名/学部1名)	無
8	特定非営利活動法人 文化財保存支援機構 関西支部金銭出納、帳簿記載業務	2017.4.1～ 2018.3.31	特定非営利活動法人 文化財保存支援機構	特定非営利活動法人 文化財保存支援機構の関西支部における金銭出納、帳簿記載事務。	無	無
9	ガラス乾板の調査とスキャン作業	2017.8.1～ 2018.3.30	京都国立博物館	京都国立博物館所蔵のガラス乾板のうち、新に見つかった小サイズのガラス乾板(四つ切)中心に状態調査を行い、劣化・破損箇所を記録、ガラス面のカビや埃の除去を行い、スキャナを用いてスキャンしデジタルデータ化を行う。	有(院生2名/学部7名)	無

4-(1)-㊤ 産官学連携

日本庭園・歴史遺産研究センター 日本庭園研究部門

平成30年5月1日

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	名勝会津松平氏庭園池護岸遺構調査及び記録作成業務委託	H29.5.1-H30.3.23	会津若松市	福島県会津若松市に所在する名勝会津松平氏庭園御薬園において、発掘調査によって検出された遺構の記録を委託された。また、事業に設置されている専門委員会に参加し、事業運営に係る専門的知見からの助言・指導などの支援を委託された。	有(卒業生3名)	無
2	H29名勝玄宮楽々園植栽整備委託業務	H29.6.1-H30.3.26	彦根市	滋賀県彦根市に所在する名勝玄宮楽々園において、名勝庭園の重要な構成要素である植栽に特化し、園内で定められた特別管理木を対象に剪定修復、眺望の回復並びに修景管理指導を委託された。	有(卒業生1名)	無
3	H29名勝庭園管理アドバイザー委託業務	H29.6.1-H30.3.26	彦根市	滋賀県彦根市に所在する名勝玄宮楽々園において、名勝庭園の維持管理に携わる彦根城内常設作業員に対し、文化財管理に携わる心得から技術伝承に係ることなどの指導者として、センターから所員の派遣を委託された。	無	無
4	旧安川邸日本庭園基礎調査業務委託	H29.5.22-H29.8.31	株式会社セプト設計コンサルタント	福岡県北九州市に所在する旧安川邸別邸は、安川敬一氏が暮らした邸宅であり、北九州市が安川電機から譲り受けて整備に着手している。本業務は旧安川邸整備事業の基本設計を行っているセプト設計より、庭園に係わる専門的な調査、助言、指導を委託された。	有(卒業生1名)	無
5	彦根城博物館内庭園修景整備委託業務	H29.5.1-H30.2.28	彦根市教育委員会	本業務は、滋賀県彦根市の彦根城内に設置されている彦根城博物館内に位置する庭園の、主に植栽に重点を置いた修景管理及び主要木の修復剪定を委託されたものである。また、彦根城内の維持管理を専門とする彦根城常設作業員に対して庭園の管理指導と剪定指導を委託された。	無	無
6	名勝柴田氏庭園植栽整備指導業務	H29.6.29-H30.3.23	敦賀市	福井県敦賀市に所在する名勝柴田氏庭園において、維持が滞っていた時期から名勝本来の姿、魅力を取り戻すために、上位の保存整備計画に基づく実施設計並びに監理指導を委託された。さらに事務局運営の支援を委託されており、庭園の日常の維持管理行為についても助言・指導を行う	有(卒業生1名)	無
7	平成29年度正善院保存整備事業における庭園設計監理業務	H29.4.5-H30.3.28	京都伝統建築技術協会・堂計画室 特定委託業務共同企業体	鳥取県東伯郡三朝町に所在する国の史跡・名勝三徳山の4つの寺院の内の正善院庭園において、国庫補助事業の一環として保存整備基本計画に基づいた庭園の実施設計監理業務を委託された。また、事業が円滑に進むように委員会運営の支援、庭園の技術指導を委託された。	有(卒業生1名)	無
8	平成29年度京都御苑桂宮邸跡庭園調査業務	H30.11.1-H30.3.23	環境省自然環境局 京都御苑管理事務所	京都御苑に遺存する旧桂宮邸跡は、建物は二条城に移築されている。庭園は経年的な堆積物によって埋まっていたが、史資料調査の成果を基に、遺構の確認のための清掃、発掘調査が実施されてきた。本年度は、過年度に引き続き実施される建物と庭園遺構の発掘調査の立会いを委託された。	有(学部生5名)	無
9	平成29年度日本万国博覧会記念公園日本庭園植栽・景観創出業務	H29.4.1-H30.3.31	阪神造園建設業協同組合	大阪府吹田市に所在する万国博覧会記念公園の中に位置する万博日本庭園において、計画設計を務めた内務技師の田治六郎氏の設計意図を汲み取った景観の管理手法や、植栽の樹種別剪定方法の技術指導を委託された。	無	無
10	平成29年度日本万国博覧会記念公園日本庭園修景管理講習会委託業務	H29.7.1-H30.12.29	阪神造園建設業協同組合	日本万国博覧会記念機構策定「日本万国博覧会記念公園 日本庭園改修基本計画平成19年度」に基づき、日本万国博覧会記念公園日本庭園に設定されているゾーン毎の修景管理を、年間2〜3回の回数で講習会の講師として参加して指導を実施することを委託された。	無	無
11	平成29年度東大寺境内(水門町)庭園遺構調査委託業務	H29.8.7-H30.6.25	宗教学人東大寺	奈良県東大寺境内の遺構の調査及び実測図面の作成並びに調査報告書作成の委託をされた。まず経年的な堆積物の除去作業、枯木伐採・剪定、庭園部地形実測図を作成した。権原考古学が実施している発掘調査の延長に伴い、発掘調査成果待ちのため当方も工期を延長することになった。	有(卒業生2名)	無
12	「長江家庭園復元的整備委託」業務	H29.9.1-H30.3.31	株式会社フージャースコーポレーション	京都市下京区に所在する長江家は職一体の京都呉服卸商屋の佇まいを今に遺す。庭園記録保存、文献史料整理、植栽伐採・剪定、庭園の復元的整備、庭園整備後の記録を委託された。庭園整備はほぼ完了しているが、建物工事の関係で当方の軽微な作業が待機中。5月中旬に終了予定である。	有(学部生10名)	無
13	名勝深田氏庭園保存整備工事監理指導等業務	H29.6.30-H30.3.28	深田耕太郎	鳥取県米子市に所在する名勝深田庭園の庭園本来の姿・魅力を取り戻す国庫補助整備事業の一環で、保存整備基本計画書作成とき損箇所の整備設計・監理を委託された。さらに庭園の専門的知見から技術指導及び助言、委員会の運営支援を委託された。	有(卒業生1名)	無
14	吉城園周辺地区 土崩毀損状況調査委託(吉城園周辺地区整備事業(社会資本)(主プロ))第 220-委-1号	H29.10.2-H30.3.28	奈良県	奈良県奈良市の名勝奈良公園内に所在する吉城園とその周辺、並びに旧裁判所跡地庭園(高畑町)を対象に、既存塀の現況調査と調査報告書作成を委託された。また、文化財保全の観点、文献調査等、各調査成果に基づいた庭園の歴史的価値を踏まえた助言・指導を委託された。	有(卒業生1名) (他大学12名)	無

15	平成29年度旧安川邸庭園基本設計に伴う追加調査委託業務	H29.9.11-H30.1.31	株式会社セプト設計コンサルタント	福岡県北九州市に所在する安川財閥が所有していた旧安川邸跡における整備事業である。現在の管理団体の北九州市が設計業者セプト設計に委託した内、セプト設計より当方には、庭園遺構発掘調査、記録保存、専門的指導・助言、調査報告書作成を委託された。	有(卒業生2名)	無
16	平成29年度 宇治市名勝総合調査「宇治の名勝地」現状調査委託業務	H29.7.26-H30.3.23	宇治市	宇治市によって設置された専門委員会によって選出された宇治市内の名勝候補地リストをデータ化し、現状と文献を調査の上、今後の宇治市内における名勝指定検討の価値判断の基礎資料作成を委託された。また、名勝候補地の保護に関する方策の検討のための助言・指導を委託された。	有(学部生1名、卒業生4名)	無
17	浄住寺の庭の実測調査	H29.11.28-H30.3.31	京都市	京都市西京区山田に所在する黄檗宗浄住寺の庭は、京都市名勝指定の候補として挙がっている。京都市より、名勝の指定に伴う基礎資料として、庭園地形実測図の作成と植栽記録図の作成を委託された。	有(卒業生2名)	無
18	H29 玄宮園護岸保存整備工事第5工区実施設計委託業務	H30.2.20-H30.3.28	彦根市	滋賀県彦根市の彦根城下屋敷の名勝玄宮楽々園において、園池護岸整備の一環で、上位計画「名勝玄宮楽々園整備基本計画」(彦根市、H8)、「玄宮園庭園整備基本方針」(彦根市、H20)、そして発掘調査成果等に基づいた護岸整備実施設計(第5工区対象)の作成を委託された。	有(卒業生1名)	無
19	平成29年度宇治市二子山古墳資料基礎調査研究委託業務	H29.7.26-H30.3.23	宇治市	宇治市宇治川附近、丘陵上に立地する二子山古墳は、円墳2基が丘陵先端の頂部に並ぶ古墳時代中期の古墳である。規模に比して豊富な出土品を擁し、宇治の首長の墓である可能性を持つことは宇治市のみならず山城地域の古墳時代を考える上で重要な古墳で、その基礎資料作成を委託された。	無	無
20	平成29年度旧安川邸庭園基本設計に伴う再追加調査委託業務	H.29.10.1-H30.3.30	株式会社セプト設計コンサルタント	福岡県北九州市に所在する安川財閥が所有していた旧安川邸跡における整備事業である。現在の管理団体の北九州市が設計業者セプト設計に委託した内、セプト設計からは当方には、庭園遺構の発掘調査の範囲・記録追加等の作業追加が委託された。	有(卒業生2名)	無
21	平成29年度 特別史跡彦根城跡松剪定委託業務	H30.1.11-H30.3.26	彦根市教育委員会	彦根城及び城下の金亀兒童公園内に植栽されているアカマツ、クロマツの修復剪定を委託された。国宝彦根城の景観を損なうことのないよう、名勝玄宮楽々園と同様の質の高い植栽管理を目的に委託されたものである。	有(卒業生1名)	無
22	平成29年度岩井勘蔵家庭園実測調査	H30.2.1-H30.3.10	一般社団法人 歴史まちづくり研究会・うじ	宇治茶の製茶問屋である芳春園岩井勘造商店の本店家屋である岩井勘造家の主屋前の庭園の平面実測調査を行い、その配置と構造を明らかにするとともに、その庭園学的所見を明らかにすることを目的とする。庭園の実測図、学術的所見作成を委託された。	有(学部生1名、卒業生1名)	無